

# なし生育診断予測事業

## 平成 31(2019)年産なし開花予測第 1 報

平成 31(2019)年 3 月 1 日

経営技術課

### 1 開花予測

「ナシの生育診断予測プログラム（農業試験場、3月1日現在）」による本年の「幸水」の開花予測は、県平均で開花始が4月18日で平年に比べ1日早く、昨年に比べ8日遅い。開花盛は4月20日の予測となっている。「豊水」については、開花始が4月16日と平年並みで昨年より8日遅く、開花盛は4月18日の予測となっている。

本年の自発休眠覚醒時期は、1月12日頃で、昨年10月から12月の気温が高めに推移し平年より13日遅かったが、自発休眠覚醒から2月末日までの気温は平年より1.0度高かったため、現在の花芽の生育は平年並みと予測している。

なお、現時点での予想に比べ、今後の気温が高く経過すると開花が早まるので、病害虫防除や凍霜害対策等が遅延しないよう留意する。

### 2 今後の栽培管理の留意点

#### (1) せん定・誘引

結果枝が古くなると着果数の減少や品質低下を招くため、積極的な更新が重要である。結果枝等の更新により骨格枝に生じた切り口には、枯れ込みを防止するため癒合剤を塗布し保護する。園内を見回り、紫変色枝枯症が発生した枝は除去する。

作業の遅れは、生産量の低下だけでなく、黒星病の発生も助長するため、計画的に作業を進める。

#### (2) 花芽の整理（摘蕾）

質の悪い花芽や上向きの果台については、花芽の整理や摘蕾を行い、貯蔵養分の浪費を防ぐとともに摘果の省力を図る。

#### (3) 病害虫防除

ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多かった園では、粗皮削りや休眠期防除を行う。

黒星病については、開花前後が重要防除時期となるため、りん片脱落期以降、計画的に防除を行う。りん片脱落期から開花期にかけて、雨天が多いと発生を助長するため、長果枝利用の多い園地では、十分注意し、必要に応じて追加散布を行う。

#### (4) 凍霜害対策

防霜ファン設置ほ場は、通電や稼働状況を事前に確認する。燃焼法を実施するほ場は、少なくとも2～3回程度の燃料を確保する。

### 3 各地域の開花予測

表1 幸水の開花予測値

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
大田原市	4/20	-1日	+6日	4/22	-2日	+4日
高根沢町	4/18	-2日	+7日	4/21	-2日	+8日
那須烏山市	4/19	-1日	+7日	4/22	-2日	+7日
宇都宮市	4/19	-2日	+7日	4/21	-2日	+6日
農試	4/18	-2日	+7日	4/20	-3日	+7日
鹿沼市	4/19	-1日	+8日	4/21	-1日	+8日
芳賀町	4/19	-1日	+9日	4/21	-2日	+8日
栃木市	4/15	0日	+9日	4/17	-1日	+8日
佐野市	4/13	0日	+8日	4/16	-1日	+9日
小山市	4/14	0日	+9日	4/16	-1日	+8日
平均値	4/18	-1日	+8日	4/20	-2日	+7日

※平年差、昨年差が-は早まることを、+は遅れることを示す

表2 豊水の開花予測値

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
大田原市	4/18	0日	+8日	4/20	-1日	+8日
高根沢町	4/17	0日	+8日	4/18	-2日	+6日
那須烏山市	4/18	0日	+7日	4/20	-1日	+7日
宇都宮市	4/17	-2日	+7日	4/18	-3日	+6日
農試	4/16	-1日	+7日	4/18	-1日	+6日
鹿沼市	4/16	-1日	+11日	4/19	-1日	+9日
芳賀町	4/16	-1日	+9日	4/19	-1日	+9日
栃木市	4/12	0日	+8日	4/15	0日	+8日
佐野市	4/11	0日	+8日	4/14	0日	+10日
小山市	4/12	0日	+8日	4/14	-1日	+8日
平均値	4/16	0日	+8日	4/18	-1日	+8日

表3 農試における「にっこり」の開花予測

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
農試	4/12	-2日	+7日	4/15	-2日	+7日